

刊行にあたって

わが国の成人の約8割が歯周病に罹患していることは、周知のとおりです。しかしながら、多くの国民は自分が歯周病に罹患しているとは考えてもいないと思います。そのような歯周病に対してできるだけ早期に感染除去することで、改善に導きたいものです。それを可能にするのが、私たち歯科衛生士が担う「歯周基本治療」です。

歯周基本治療において、とくに OHI (Oral Hygiene Instruction : 口腔衛生指導) と SRP (Scaling and Root Planing) は必ず行うものであり、治療の成否を左右します。この2本柱を担っている私たち歯科衛生士は、とてもやりがいのある仕事なのです。

プラークコントロールと SRP は、比較的早期の段階で治療の成果を実感できます。その成果からやりがいを感じることも多く、ハイジーンワークの楽しさにも繋がっていきます。また、歯周基本治療を実施することによって、患者さんとの信頼関係を構築することもできます。

本書では SRP に焦点を当て、SRP を効果的に行うだけでなく、SRP 時の歯周組織などから得る情報を“イメージスケッチ”として書き留めるために必要な知識や技術の詳細を解説しています。

本書は、DHstyle 2018年1月号から2019年3月号まで15回連載した「臨床がみるみるレベルアップするイメージスケッチ教室」をベースに、内容を新たに見直して1冊の本にまとめたものです。

読者のみなさんが本書を通して SRP が「苦手」から「楽しい！」に少しでも変わり、患者さんの健康寿命増進に役立てていただければ幸いです。

2019年11月

下田 裕子